

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

	所管課	福祉課
会議名 (審議会等名)	第2回高齢者保健福祉計画策定委員会	
開催日時	令和6年1月23日(火) 午後2時～午後3時	
開催場所	嬉野庁舎 3-1会議室	
傍聴の可否	㊦ ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数 0人
傍聴不可・一部不可 の場合はその理由		
出席者	委員	坂口典子委員、諸岡博子委員、石崎知樹委員、古賀哲郎委員、板家圭祐委員、永尾春子委員、副島裕二委員、
	事務局	山口課長、富永副課長、中村主任、川内主事、森主事
	その他	
会議の議題	別紙のとおり	
配布資料	・ 嬉野市高齢者保健福祉計画(案)について	
審議等の内容	別紙のとおり	

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	福祉課
議 題	嬉野市高齢者保健福祉計画について		
内 容	計画案の内容について各分野のご意見を伺う		
審議経過	事務局	資料「嬉野市高齢者保健福祉計画（素案）」「高齢者暮らしの便利帳」に基づき説明。	
	委員	P25 「ふれあい介護予防講習会」が令和5年度0人となっているが、12月に開催を行い、3月にも予定している。	
	事務局	再度3月に確認をし直し、記載する。	
	委員	P14 以前は虚弱という項目があったと思うが、今回記載がないのは何故か。	
	事務局	連合会で行われたデータで虚弱に関連する項目がなく、判定できなかった。他の項目は2、3問の設問で判定を行うが、虚弱に関しては20数問から判定を行うため、少しでも割愛すると判定が出せない状態となり、今回記載できていない。	
	委員	閉じこもり傾向が18.2%、文章の「運動器の機能低下」のところに入るのではないか。	
	事務局	確認し、修正を行う。	
	委員	調理教室がなくなるという記載があったが、コロナ禍が過ぎても再開しないのか。	
	事務局	ここに記載されている名前の教室は行われていないが、別の名前で行われている。	
	委員	P53 前は対象者数入っていたかと思うが、今回外されている理由を伺いたい。	
事務局	年度でまとめて数字を確認し、記載したいと思う。		

委員	対象者数があった方がわかりやすいように思う。今回の能登地震のような震災が起こった際に、どのくらい対象者がいるか把握して、安否確認を行うことが大変。
事務局	発生直後より、どれくらいの支援者がいるかの把握が大切なように感じた。
委員	福祉避難所が少なく、機能していないところがある。少子高齢化が続き、それに対しての様々なサービスがあるように思うが、今は感染や災害があったときにどういう風に対応を行っていくかの関心が高まっているように思う。
事務局	突然の災害にどう対応すればいいのか、災害がある度に支援方法や関心が変わってきているように思う。災害対策の担当と連携しながら嬉野市にあった支援方法を研究し、新たに加えていけるところは加えていきたいと思っている。
委員	口腔ケア出前講座が令和4年から始まっているようだが、今年は開催されたのか。
事務局	記載されているのは9月末時点のデータだが、11月老人会に歯科衛生士の方に行っていたら、出前講座をお願いした。
委員	具体的にどういったことをされているのか伺いたい。
事務局	老人会からこういった講座を開いていただけないかと依頼を受け、歯科衛生士の先生に依頼をかけ、講座を開いていただいている。内容についてはオーラルフレイル、予防のための体操などの話をお願いしている。
委員	P53 災害発生時に支援が必要な方に対して、避難支援等関係者を伝えるような形になるのか。
事務局	避難支援等関係者が支援者になるわけではなく、この方々と情報共有を行い、必要な支援を行っていくということになる。
委員	もし震災が起こって行政区長に何かあったとき、データは誰が持っているのかとなる。その場に皆いるわけではない。その場合の対応などをどうされるのか伺いたい。もう少し他の方にも情報共有を行わないと、現場に行ったときに誰に聞けばいいのかわからなくなる。
事務局	個人情報と密接な関係があり、情報共有を誰にでもというのが難しい。避難支援等関係者に情報を平時に共有しておき、何か起きた際にはその情報を活用していただけるように現在動いている。身近な行政区長、民生委員には1人世帯などをお願いし、家族がいれば家族で情報を把握されていると思うが、1人暮らしで他に情報を持つ

<p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>ている方がいないというようなときには、この個別計画が役に立つのではないかと考えている。</p> <p>現場の人間としては情報が欲しいというより、情報を誰が持っているのかの情報が欲しい。</p>
<p>事務局</p>	<p>消防関係は防災の方にも情報を渡しており、消防署とも情報を共有している。</p>
<p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>引きこもり老人の方が引きこもる理由は何が一番多いのか。</p> <p>男性が圧倒的に多い。全国的な課題となっている。通所サービスCなど、身体を動かすこと、グランドゴルフなど何か目的があるところには誘いやすいが、女性のように出てきてくれないことが大きな課題。e スポーツといって簡単なファミコンゲームでトレーニングをされている事業もあり、検討しているところではある。</p>
<p>委員</p>	<p>これからの団塊世代は今とは違う気がする。</p>
<p>委員</p>	<p>P23 老人会の通いの場について、市の方から老人会の方にもう少しPRしてもらった方がいいように思う。血圧測定なども行われているように記載されているが、本当に全地区で行われているのか疑問。他の地区の民生委員とも話をするが、ここに記載されているような活動を市はされていないように思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>塩田地区では中央公民館の方で認知症カフェを開催した。また、カフェをお借りして1回開催している。塩田の方でも回数や場所を増やしていきたい。通いの場について、今年度は100歳体操をされている老人会を中心に回っている。昨年度は出前講座を申し込まれた老人会に出向き測定や相談を行った。申し込みをされる所が毎回同じにはなっている。こちらから募集をかけると、同じところに毎年集中してしまうため、来年度は今まで関わっていない老人会に声をかけていきたいと思っている。</p>
<p>委員</p>	<p>地域コミュニティが折角あるのだから、もう少し連携して行ってほしい。</p>
<p>事務局</p>	<p>積極的に声かけを行いたいと思っている。追加の説明となるが、口腔の教室、運動機能の教室、音楽サロンなど色々なメニューを書いた用紙を老人会長にお渡しし、紹介している。コミュニティの方にもその用紙を配り、声掛けをお願いしたいと思っている。</p>
<p>委員</p>	<p>P48 令和6年度から小学4年生を対象に養成講座を実施とあるが、具体的にどのような授業で行われているのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>道徳や人権に関する時間で実施している。大野原や轟など少ないと</p>

	<p>委員</p> <p>事務局 委員</p>	<p>ころは一緒に集まって授業内容などを決め、学校教育課を通じて協議を行っている。小学4年生から認知症サポーター養成講座を受けることが可能。</p> <p>6年生を対象に実施しているが、4年生が対象で大丈夫かと少し思った。</p> <p>養成講座は全国的な組織で登録している事業。4年生くらいから理解ができてくるのではないかということで、スタートを4年生にはしているが、中学校、高校と何回もそういった教育を受けながら自分のものにしていただきたいと思っている。</p>
--	-----------------------------	---